



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月16日

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー
コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 古田 光浩
四半期報告書提出予定日 平成25年7月26日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

TEL 052-775-8000
平成25年9月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	5,493	13.6	723	9.7	732	9.7	434	7.5
24年12月期第2四半期	4,833	1.4	659	△14.8	667	△14.5	404	9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	65.55	—
24年12月期第2四半期	60.99	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	8,317		6,718	80.8			1,013.32	
24年12月期	7,763		6,372	82.1			961.15	

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 6,718百万円 24年12月期 6,372百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	20.00	—	28.00	48.00
25年12月期	—	24.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。現在、期末配当金につきましては12円を想定して検討中であります。決定次第、適時開示にてお知らせいたします。

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	15.2	1,600	14.0	1,620	13.1	955	9.8	144.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	6,630,000 株	24年12月期	6,630,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	216 株	24年12月期	106 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	6,629,847 株	24年12月期2Q	6,629,928 株

(注)当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安・株高が進行する等、景気回復への明るい兆しやアベノミクスへの期待から消費者マインドの改善が見られ、自動車販売台数の回復や百貨店での高額品の売上が伸びるなど景気は回復局面になっております。

外食産業におきましては、消費を活性化するための低価格訴求の販促策が、以前のように効果しなくなる消費動向の変化が見られ、その対応策を各社が模索する一方、円安等による原材料価格の高騰等があり、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

当社では、このような環境の下「お客様の立場で顧客創造」の企業理念に基づき、価値と価格のバランスを取りながら、ご家庭では味わうことができない料理とサービスを提供する「ご馳走レストラン」のコンセプトを確固たるものにするべく、食材の調達力、商品開発と加工力、調理技術、接客サービスの更なる強化と、新規出店と既存店活性化に取り組んでまいりました。その成果として当第2四半期累計期間では、売上高前年同期比13.6%増（既存店売上高前年同期比5.1%増）、四半期純利益前年同期比7.5%増と過去最高の業績を達成することができました。

メニュー政策では「価値と価格の両面でご満足いただけるメニュー作り」を実施いたしました。2月は過去680円（税別）のポピュラー価格で人気を博したブロンコハンバーグランチを580円（税別）で復活させ、3月には当社の看板商品であるぶどう牛の肩ロースステーキを導入、4月にはカット方法を見直し「熟成ぶどう牛炭火炙り焼きステーキセット（150g1,580円（税別））」としてランチメニューに追加、さらにステーキのコンビメニューや人気のがんこハンバーグのトッピングバリエーションを増やしました。また、店舗限定、期間限定メニューを導入する等、お客様の嗜好や店舗状況に合わせた柔軟なメニュー政策を実施してまいりました。

4月にはハンバーグポーション自動化のための機械を導入し、店舗で手ごね製造していた品質以上のハンバーグを当社ファクトリーより店舗へ納品する事が可能になりました。また、魚沼産コシヒカリを炊きあげる大かまどには炊飯制御ユニット自動タイマーを全店に導入し、品質安定・向上と原価・人件費の低減に取り組みました。

販促面では、ご好評いただいておりますスクラッチカードやキッズクラブのお誕生日企画に加え、スタンプカードの発行や卒園・卒業のお子様を対象としたDM販促により、再来店促進と顧客作りの強化に取り組みました。また、晴れの日需要の取り込みとして「母の日」及び「父の日」企画にも取り組みました。さらに3月に全面リニューアルを実施したホームページを、インターネットを利用した販売促進ツールとして強化すべく取り組んでおります。

店舗面では、千葉県初出店となる東千葉店をはじめ、沼津店（静岡県）、小田原店（神奈川県）、西尾店（愛知県）の4店舗を出店、一方で不採算店舗1店舗を閉鎖しました。また既存店活性化として、店舗改装を3店舗実施いたしました。

（平成25年6月末日店舗数73店舗）

以上の結果、売上高54億93百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益7億23百万円（同9.7%増）、経常利益7億32百万円（同9.7%増）、四半期純利益4億34百万円（同7.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末の資産合計は83億17百万円（前事業年度末77億63百万円）となり5億54百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が4億15百万円及び出店等により有形固定資産が2億21百万円増加したこと等によります。

（負債）

当第2四半期会計期間末の負債合計は15億99百万円（前事業年度末13億91百万円）となり2億8百万円増加いたしました。その主な要因は、未払金が1億40百万円及び短期借入金が24百万円増加したこと等によります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産合計は67億18百万円（前事業年度末63億72百万円）となり3億45百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払等により繰越利益剰余金が3億42百万円増加したこと等によります。なお自己資本比率は80.8%（前事業年度末82.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、25億88百万円（前事業年度末21億91百万円）となり3億97百万円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は8億51百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が7億33百万円、減価償却費が2億円及び未払金の増加が95百万円あった一方、法人税等を3億5百万円支払ったこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は3億85百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3億63百万円あったこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は68百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額が24百万円あった一方、配当金の支払額が92百万円あったこと等によります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年1月17日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,976,581	3,392,207
売掛金	68,333	72,608
商品及び製品	42,387	27,054
原材料及び貯蔵品	191,715	133,456
その他	217,508	170,268
流動資産合計	3,496,525	3,795,595
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,431,997	2,593,144
構築物（純額）	225,178	250,536
工具、器具及び備品（純額）	297,025	338,724
土地	276,207	276,207
その他（純額）	76,176	68,978
有形固定資産合計	3,306,586	3,527,591
無形固定資産	86,271	83,534
投資その他の資産		
差入保証金	576,608	604,864
その他	297,585	306,010
投資その他の資産合計	874,194	910,874
固定資産合計	4,267,052	4,522,000
資産合計	7,763,577	8,317,596
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,403	219,198
短期借入金	96,552	121,011
未払金	399,605	540,401
未払法人税等	323,670	306,153
賞与引当金	16,423	27,177
販売促進引当金	32,877	26,958
その他	102,506	133,377
流動負債合計	1,176,038	1,374,277
固定負債		
資産除去債務	196,042	206,395
その他	19,147	18,825
固定負債合計	215,190	225,220
負債合計	1,391,228	1,599,498

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	4,849,606	5,191,398
自己株式	△112	△325
株主資本合計	6,366,168	6,707,748
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180	10,349
評価・換算差額等合計	6,180	10,349
純資産合計	6,372,349	6,718,097
負債純資産合計	7,763,577	8,317,596

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4,833,952	5,493,099
売上原価	1,310,160	1,502,553
売上総利益	3,523,792	3,990,545
販売費及び一般管理費	2,864,166	3,267,121
営業利益	659,625	723,424
営業外収益		
受取利息	937	942
受取配当金	1,193	1,321
受取賃貸料	10,320	11,340
受取保険金	5,696	1,161
協賛金収入	4,528	5,523
その他	4,024	2,286
営業外収益合計	26,699	22,575
営業外費用		
支払利息	378	457
賃貸費用	10,591	10,586
盗難損失	5,205	—
その他	2,254	2,392
営業外費用合計	18,429	13,435
経常利益	667,895	732,563
特別利益		
固定資産売却益	1,000	2,000
災害保険金収入	76,370	—
特別利益合計	77,370	2,000
特別損失		
固定資産除売却損	531	919
減損損失	3,648	—
災害による損失	35,171	—
特別損失合計	39,351	919
税引前四半期純利益	705,914	733,644
法人税、住民税及び事業税	282,324	293,636
法人税等調整額	19,245	5,397
法人税等合計	301,569	299,033
四半期純利益	404,345	434,610

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	705,914	733,644
減価償却費	196,507	200,569
減損損失	3,648	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,752	10,754
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△1,516	△5,919
受取利息及び受取配当金	△2,130	△2,263
支払利息	378	457
固定資産除売却損益 (△は益)	△468	△1,080
災害保険金収入	△76,370	—
災害損失	35,171	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,714	73,592
売上債権の増減額 (△は増加)	8,827	△4,275
長期前払費用の増減額 (△は増加)	3,334	3,348
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,005	14,794
未払金の増減額 (△は減少)	31,123	95,887
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,412	25,751
その他	△30,656	9,863
小計	833,207	1,155,123
利息及び配当金の受取額	2,130	2,263
利息の支払額	△369	△457
法人税等の支払額	△237,786	△305,118
災害保険金の受取額	76,370	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,552	851,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,860	△19,853
有形固定資産の取得による支出	△199,257	△363,807
有形固定資産の除却による支出	△2,359	△919
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
無形固定資産の取得による支出	△2,304	△5,544
差入保証金の差入による支出	△14,807	△23,130
差入保証金の回収による収入	3,050	5,000
預り保証金の受入による収入	5,820	—
預り保証金の返還による支出	—	△600
建設協力金の支払による支出	—	△21,000
建設協力金の回収による収入	14,884	10,874
保険積立金の積立による支出	△1,621	—
保険積立金の解約による収入	—	31,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,454	△385,848
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△41,340	24,459
長期借入金の返済による支出	△10,909	—
自己株式の取得による支出	△61	△213
配当金の支払額	△66,606	△92,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,917	△68,390

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	338,180	397,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,609,197	2,191,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,947,378	2,588,713

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。